

平成 26 年度 地球環境基金助成事業・県民の環境活動支援事業

ちば里山カレッジ実施報告書 (2)

特定非営利活動法人ちば里山センター

テーマ	第 2 回フィールド研修 (バスツアー) 「ちばの里山は今！」
日時	平成 26 年 8 月 9 日 (土)
場所	研修フィールド： 松戸市 関さんの森 9:00～10:00 流山市 おおたかの森 11:00～12:10 我孫子市 岡発戸谷津 13:50～16:00
出席者	受講生 31 名 (欠席 4 名)・主催者 3 名・スタッフ 1 名 講師：千葉県農林総合研究センター森林研究所 主席研究員 福島成樹 アシスタント講師：松戸里やま応援団 三嶋秀恒 フィールドアシスタント講師： 関さんの森 ; 関さんの森を育む会 おおたかの森 ; 里山ボランティア流山 岡発戸谷津 ; 手賀沼森友会 あびこ谷津学校友の会
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8:20 新松戸駅に集合 関さんの森まで歩く。 ・ 9:00 関さんの森 フィールド内にて説明を受ける。 この森は屋敷林であったが、相続を機に松戸市に寄付された。その後道路計画が持ち上がり、分断されそうになったが、地域の人々の力で回避することができた。 屋敷林としての形態を守っている。古い樹木が多い。 ・ バスでおおたかの森へ移動 ・ 11:00 おおたかの森 周りは団地として開発され商業施設など、都市として発展しているところに存在する。 開発途中で、環境のために残してほしいという声上がり、一部分が残った森林。ここには一組のおおたかが住み、毎年 2 羽のひなを育てていることがかんざれている。 この森をどのように整備・保存するかはまだ決まっていない。これから取り組む未整備の森である。 ・ 12:10 バスの中で食事をしながら岡発戸谷津へ移動。 岡発戸谷津は里山として整備・保存が進められている。地主さんたちの考え方の違いなど、整備方針を決めるのがはなかなか難しいとのことだったが、蛍の復活、ひかり藻の保護、耕作放棄地の活用などいろいろな問題と取り組んでいる。川の整備には我孫子市の力で、安全な川辺がつけられていた。 地域と公共 (手賀沼課) がともに取り組んでいる里山活動形態。 ・ 16:00 天王台駅にて解散

添付資料（写真）



関さんの森で説明を聞く



関さんの森



関さんの森



おおたかの森の説明



おおたかの森（市野谷の森）へ向かう



おおたかの森
（市野谷の森）



おおたかの森
（市野谷の森）



おおたかの森の
近くまで進む開発



岡発戸谷津へ



谷津守人の活動説明



谷津守人の活動説明



岡発戸谷津の林



二ホンアカガエルやホタルの
保護の説明を聞きながら歩く



ヒカリ藻の保護